

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 数学 ）

No.1

| 調査研究の観点 | 所 見 | | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ） | 発行者（ 大日本図書 ） 発行者番号（ 4 ） | 発行者（ 学校図書 ） 発行者番号（ 11 ） |
| 1 内 容 | <p>①章ごとに2～3個のデジタルコンテンツが用意されていて、生徒一人一人が図形を動かし、観察することができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②応用的な内容である「章の問題B」では、多くの問題で考え方と解説が掲載されている。</p> <p>③各章に、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。また、各節の導入に作業的な活動を取り入れている。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「複数のヒストグラムの比較のしづらさを実感→四分位範囲と箱ひげ図の理解→ヒストグラムと箱ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。</p> | <p>①図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意されていて、生徒一人一人が図形を動かし、観察することができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②応用的な内容である「力をのぼそう」には、いくつかの問題で解説が掲載されている。</p> <p>③各章に1箇所、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲と箱ひげ図の理解→ヒストグラムと箱ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。</p> | <p>①関数、図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意されていて、様々な統計資料を見ることができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②「確かめよう」「章のまとめの問題」では、いくつかの問題で解説が掲載されている。</p> <p>③各章に1箇所、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「箱ひげ図の紹介→四分位範囲と箱ひげ図の理解→箱ひげ図の読みとり方→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。ヒストグラムとは関連していない。</p> |
| 2 構成・分量 | <p>①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題A・章の問題B」と系統的に配列されている。章末問題は基本、応用、活用とレベル分けされている。</p> <p>②素因数分解は0章「算数から数学へ」の中で記載されている。ページ数は2ページである。</p> <p>③箱ひげ図は7章「データを比較して判断しよう」に記載されている。ページ数は8ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年231ページ、第2学年184ページ、第3学年214ページである。</p> | <p>①節末に「たしかめよう」、章末に「章をふり返ろう」、発展として「力をのぼそう」と系統的に配列されている。章末に学びのふり返りができる問題が設定されている。</p> <p>②素因数分解は1章「数の世界のひろがり」の1節に記載されている。ページ数は4ページである。</p> <p>③箱ひげ図は6章「データの比較と箱ひげ図」に記載されている。ページ数は8ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年252ページ、第2学年188ページ、第3学年226ページである。</p> | <p>①節末に「確かめよう」、章末に「章のまとめの問題」と系統的に配列されている。章末問題は基本、応用、活用とレベル分けされている。</p> <p>②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ページ数は4ページである。</p> <p>③箱ひげ図は7章「データの分布」に記載されている。ページ数は11ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年248ページ、第2学年201ページ、第3学年233ページである。</p> |
| 3 表記・表現 | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、常体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。</p> <p>⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。</p> | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年は敬体、第2学年・第3学年は常体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。</p> <p>⑤表紙に英語表記「Mathematics World」がある。</p> | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されていない。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、常体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」「範囲・レンジ」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。</p> <p>⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。</p> |
| 4 使用上の便宜 | <p>①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で52箇所である。</p> <p>②各章の前にふりかえりのページはない。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。</p> <p>④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。</p> <p>⑤巻末に正多面体や四角錐の模型がある。</p> <p>⑥別冊ノートは付いていない。</p> | <p>①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で46項目である。</p> <p>②各章の前にふりかえりのページはない。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。</p> <p>④巻末に1年間の学習内容のまとめがある。</p> <p>⑤巻末に正多面体の模型がある。</p> <p>⑥別冊ノートは付いていない。</p> | <p>①ページ内にあるQRコードからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で41箇所である。</p> <p>②章によっては、前ページにふりかえりのページがある。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラム、レポートの作成方法などが取り上げられている。</p> <p>④学習内容のまとめのページはない。</p> <p>⑤巻末に正負の数を用いたカードゲームや四角錐の模型がある。</p> <p>⑥別冊ノートは付いていない。</p> |

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 数学 ）

No.2

| 調査研究の観点 | 所 見 | | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 発行者（ 教育出版 ） 発行者番号（ 17 ） | 発行者（ 新興出版社啓林館 ） 発行者番号（ 61 ） | 発行者（ 数研出版 ） 発行者番号（ 104 ） |
| 1 内 容 | <p>①データの分析の分野を中心にいくつかのデジタルコンテンツが用意されていて、ヒストグラムを操作したり、統計資料を確認したりすることができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②「基本の問題」「章の問題」では、どちらも解答が掲載されている。「章の問題」の大問ごとに学習課題が記載されている。</p> <p>③各章の導入と章末の2箇所に、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「ヒストグラムの復習→四分位範囲の理解→箱ひげ図の理解→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。箱ひげ図とヒストグラムとの関連は4行分掲載されている。</p> | <p>①各章に問題の解答方法を説明するデジタルコンテンツが用意されていて、数多くの視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」のページでは、QRコードにアクセスすると、全ての問題の解説がある。</p> <p>③各節のはじめに、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「箱ひげ図の紹介→四分位範囲と箱ひげ図の理解→ヒストグラムと箱ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。</p> | <p>①各章に5～10個のデジタルコンテンツが用意されていて、数多くの視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QRコード)</p> <p>②「確認問題」「問題A」「問題B」では、どれも答えのみが掲載されている。さらに発展的な練習ができるように「チャレンジ編」がある。</p> <p>③教師と生徒の対話場面を充実させており、学びのプロセスに焦点があたるように配慮されている。また、学んだ内容を総合的に活用して解決する課題をまとめた別冊『探究ノート』がある。</p> <p>④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲の理解→箱ひげ図の理解→ヒストグラムと箱ひげ図との関連→箱ひげ図を用いた分析」という流れである。</p> |
| 2 構成・分量 | <p>①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題」と系統的に配列されている。章末に章のまとめが記載されており、振り返りがしやすいよう工夫してある。</p> <p>②素因数分解は1章「整数の性質」に記載されている。ページ数は5ページである。</p> <p>③箱ひげ図は7章「データの分析」に記載されている。ページ数は15ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年251ページ、第2学年205ページ、第3学年295ページである。</p> | <p>①節末に「練習問題」、章末に「学びをたしかめよう」、発展として「学びを身につけよう」と系統的に配列されている。章末の問題量が豊富である。巻末に振り返りのページがある。</p> <p>②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ページ数は2ページである。</p> <p>③箱ひげ図は7章「箱ひげ図とデータの活用」に記載されている。ページ数は9ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年230ページ、第2学年174ページ、第3学年208ページである。</p> | <p>①節末に「確認問題」、章末に「問題A」「問題B」と系統的に配列されている。章末問題は基本、応用とレベル分けされており、次の章の学習に繋がる問題も設定されている。</p> <p>②素因数分解は1章「正の数・負の数」の4節に記載されている。ページ数は2ページである。</p> <p>③箱ひげ図は6章「データの活用」に記載されている。ページ数は13ページである。</p> <p>④教科書のページ数は第1学年235ページ、第2学年185ページ、第3学年219ページである。</p> |
| 3 表記・表現 | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、常体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。</p> <p>⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。</p> | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、敬体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」「範囲」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記はない。</p> <p>⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。</p> | <p>①本文の文章は、文節や単語で改行されていない。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、常体で表記されている。</p> <p>②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフを示している。</p> <p>③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値」「最頻値」「範囲」の表記がある。</p> <p>④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。</p> <p>⑤表紙や索引の項目は、日本語表記のみである。</p> |
| 4 使用上の便宜 | <p>①教科書の巻頭にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で29項目である。</p> <p>②各章の前ページにふりかえりのページがある。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。</p> <p>④各章末にその章の内容のまとめがある。</p> <p>⑤巻末にグラフ用紙や正多面体の模型がある。</p> <p>⑥別冊ノートは付いていない。</p> | <p>①ページ内にあるQRコードからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、その項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で164箇所である。</p> <p>②各章の前にふりかえりのページはない。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。</p> <p>④学習内容のまとめのページはない。</p> <p>⑤模型などの教材はない。</p> <p>⑥別冊ノートは付いていない。</p> | <p>①教科書又は章の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で161箇所である。</p> <p>②各章の前ページにふりかえりのページがある。</p> <p>③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラムなどが取り上げられている。</p> <p>④巻末に1年間のまとめ（前年度以前の内容含む）がある。</p> <p>⑤巻末に立体の断面図の模型と「自己評価」がある。</p> <p>⑥学んだことを活用して課題を解決する「探求ノート」が別冊である。</p> |

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 数学 ）

No.3

| 調査研究の観点 | 所 見 | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | 発行者（ 日本文教出版 ） 発行者番号（ 116 ） | 発行者（ ） 発行者番号（ ） | 発行者（ ） 発行者番号（ ） |
| 1 内 容 | ①関数、図形、データの活用を中心にデジタルコンテンツが用意されていて、数多くの視覚的な資料を通して理解を深めることができるようになっている。(QRコード) ②「基本の問題」「章の問題」「とりくんでみよう」のいずれも解答が掲載されている。いくつかの問題で解説が掲載されている。 ③各学年の3～4箇所、対話的に問題発見・解決する過程を重視した内容を取り入れている。 ④第2学年の四分位範囲と箱ひげ図は、「四分位範囲と箱ひげ図の理解→箱ひげ図を用いた分析→ヒストグラムと箱ひげ図との関連」という流れである。 | / | / |
| 2 構成・分量 | ①節末に「基本の問題」、章末に「章の問題」、発展として「とりくんでみよう」と系統的に配列されている。章末問題は基本、応用とレベル分けされており、次の章の学習に繋がる問題も設定されている。 ②素因数分解は1章「正の数と負の数」の3節に記載されている。ページ数は2ページである。 ③箱ひげ図は6章「データの分布と確率」に記載されている。ページ数は11ページである。 ④教科書のページ数は第1学年244ページ、第2学年182ページ、第3学年204ページである。 | / | / |
| 3 表記・表現 | ①本文の文章は、文節や単語で改行されている。本文の文章の文末は、第1学年～第3学年まで、敬体で表記されている。 ②第1学年「比例と反比例」の反比例のグラフについて、間違いやすい例のグラフは示されていない。 ③第1学年「データの分析と活用」において、「ヒストグラム・柱状グラフ」「度数折れ線・度数分布多角形」「中央値・メジアン」「最頻値・モード」「範囲・レンジ」の表記がある。 ④第2学年「三角形と四角形」の平行四辺形の性質について、「対辺」「対角」の表記がある。 ⑤表紙に英語表記「Mathematics」、索引の項目に英語表記がある。 | / | / |
| 4 使用上の便宜 | ①教科書の最初にあるQRコード又はURLからインターネットのデジタルコンテンツに接続でき、ページの目印の項目に関連した補助資料が利用できるようになっている。第1学年～第3学年で85箇所である。 ②各章の前ページにふりかえりのページがある。 ③各章や巻末に、学びを深める課題問題や数学に関するコラム、レポートの作成方法などが取り上げられている。 ④学習内容のまとめのページはない。 ⑤巻末に「対話シート」という授業の活用シートや正多面体の模型がある。 ⑥別冊ノートは付いていない。 | / | / |

